

岩見沢市 農業振興ビジョン

概要版

令和4年度～令和8年度

地域と人を守り、
多様な農業が発展を遂げる
“強い いわみざわ農業”の確立

令和4年4月 岩見沢市



ビジョンの策定

ビジョン策定の趣旨

岩見沢市では、平成23年3月に第1次、平成29年4月に第2次の岩見沢市農業振興ビジョンを策定し、農業情勢の変化や課題に対応した農業振興施策を推進してきました。

しかしながら、TPP11や日EU・EPA等の発効など経済のグローバル化の進展、農家戸数の減少、農業従事者の高齢化、新型コロナウイルス感染症の拡大など農業・農村を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、農業者、農業関係機関・団体等と連携・協力しながら、持続可能な生産体制を構築することが必要となっています。

このため、現状や課題を踏まえ、中長期的な視点に立ち、今後における岩見沢市農業の振興と持続的な発展に向けて、その基本的な方針や施策の方向性を明確にし、その実現に向けた取組みを行うため、新たな岩見沢市農業振興ビジョンを策定するものです。

ビジョンの位置付け

国・道・JAの計画と整合性を図りながら策定し、岩見沢市農業の振興と持続的な発展に向けて、進めるべき基本的な方針や施策の方向性を示すものです。

計画の期間

令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間を計画期間とします。

ビジョンの推進

ビジョンの推進にあたっては、農業者、消費者、農業関係団体・事業者及び行政が、それぞれの役割を果たす中で、農業全般に関して連携・協力しながら取組みを推進していきます。



岩見沢市農業の現状と主要課題

岩見沢市農業の現状

岩見沢市は、広大で肥沃な土地と石狩川水系の豊富な水を活かし、全道トップクラスの作付面積・収穫量を有する水稻を中心に、畑作、野菜、花きなど多種多様な農畜産物が生産されています。

平坦地域では、広い農地を活用した土地利用型農業や空知型輪作を展開しており、スマート農業の先進的な取り組みも行われています。

丘陵地域では、水稻を主体としながら、果樹や醸造用ぶどうなども生産され、その地形や土壌条件に合わせ、多様な農業形態により様々な農畜産物が生産されています。

令和2年の農家戸数は875戸で、5年前の平成28年と比較すると122戸減少しています。

農業従事者は2,401人で、平成28年と比較すると193人減少していますが、65歳以上の農業従事者は64人増加しており、年々高齢化が進んでいる状況です。

1戸当たりの経営耕地面積は、令和2年は20.6haで、平成28年から2.5ha増加しており、農家戸数の減少に伴い拡大しています。

区 分	H28(2016)	R2(2020)
農家戸数	997戸	875戸
農業従事者	2,594人	2,401人
うち64歳以下	1,703人 (65.7%)	1,446人 (60.2%)
うち65歳以上	891人 (34.3%)	955人 (39.8%)
平均年齢	57.1歳	57.9歳
1戸当たり経営面積	18.1ha	20.6ha

岩見沢市農業の主要課題

① 農業経営の安定と生産体制づくり

- 水稻は、新型コロナウイルス感染症拡大による中食・外食事業者向けの販売数量の減少により、価格が下落傾向となり、農業所得への影響が懸念される
- 輪作による生産性の向上、農作業の効率化・省力化やコスト縮減、堆肥の投入等による土壌の物理性改善などが必要

② 農畜産物の消費拡大・付加価値向上

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外食需要が減少したものの、外出自粛などにより家庭内消費は増加傾向
- 農畜産物の認知度向上や地産地消、付加価値向上やブランド化、企業などとの連携によるマーケティング分析に基づいた消費者に求められる新規作物の導入や既存作物の生産拡大による販売強化や販路拡大が必要

③ 農業生産基盤の整備

- 農地の大区画化・汎用化、農作業のICT化（水管理の省力化等）などに対応するための農業生産基盤の整備が必要
- 農業水利施設等の機能保全について、各種ストックマネジメント事業を活用して低ライフサイクルコストを実現しつつ長寿命化を進める必要がある

④ 担い手の育成・確保

- 農家戸数や農業従事者の減少・高齢化、労働力不足
- 新規就農者や認定農業者、農地所有適格法人など多様な担い手の育成・確保
- コントラクター組織や地域の学生、障がい者など多様な人材の活躍を通じて地域農業の労働力を支えていく環境を創出していく必要がある

⑤ 活力と魅力ある農業・農村の振興

- 防災・減災機能の継続性確保（田んぼダム等）や農村地域の生活環境の向上、市民の農業・農村に対する理解醸成を図ることが必要
- 農村地域の豊かな自然環境や景観、多様な地域資源を有効活用し、農村の活性化につなげていく取り組みが必要

基本目標・基本方針

基本目標

地域と人を守り、多様な農業が発展を遂げる “強い いわみざわ農業”の確立

地域経済を支える重要な基幹産業として、また、多面的機能の発揮により、地域とそこで暮らす人々の生活を守り、さらに岩見沢市の特性である土地利用型や施設園芸、果樹、醸造用ぶどうなど多様な農業が発展を遂げながら、未来につなげていくため、“強い いわみざわ農業”の確立を目指します。

基本方針

基本目標を達成するため、3つの基本方針を定め、農業者、消費者、農業関係団体・事業者及び行政が連携しながら、岩見沢市農業の振興と持続的な発展に向けた取組みを推進します。

基本方針1 農業所得の向上

基本方針1に基づく施策は、①持続可能な生産体制の確立、②農畜産物の付加価値向上と販路の確保、③スマート農業の加速化、④農業生産基盤の整備とします。



基本方針2 担い手の育成・確保

基本方針2に基づく施策は、⑤農業経営の安定・発展、⑥新規就農者の育成・確保、⑦優良農地の確保・利用集積とします。



基本方針3 農村地域の振興

基本方針3に基づく施策は、⑧多面的機能の発揮促進、⑨中山間地域農業の促進、⑩都市と農村の交流とします。



施策の体系

基本方針	施策	施策の方向性
農業所得の向上	1 持続可能な生産体制の確立	(1) 地域特性を活かした生産性向上と農業振興 (2) 土づくりの推進 (3) 環境と調和した安全・安心な農産物の生産 (4) 安全・安心な畜産物の供給 (5) 鳥獣被害防止対策の推進
	2 農畜産物の付加価値向上と販路の確保	(1) 地産地消と消費拡大の推進 (2) 農畜産物の付加価値向上の推進 (3) 企業との協働による生産、商品開発及び販路拡大の推進
	3 スマート農業の加速化	(1) スマート農業の普及促進 (2) デジタル技術を活用したスマート農業の推進
	4 農業生産基盤の整備	(1) 土地利用型農業に対応した基盤整備の推進 (2) 農業水利施設等の整備、維持管理の推進
担い手の育成・確保	5 農業経営の安定・発展	(1) 次世代に向けた多様な担い手の育成・確保 (2) 労働力の確保と農業経営支援組織の育成・確保
	6 新規就農者の育成・確保	(1) 新規就農（希望）者の就農促進
	7 優良農地の確保・利用集積	(1) 農地利用集積の促進 (2) 遊休農地の発生防止と再生利用 (3) 計画的な土地利用の推進
農村地域の振興	8 多面的機能の発揮促進	(1) 地域資源の保全管理の推進 (2) 防災・減災機能の継続性確保 (3) 農村地域の生活環境の向上
	9 中山間地域農業の促進	(1) 中山間地域農業の振興 (2) 中山間地域の活性化
	10 都市と農村の交流	(1) 農業・農村とのふれあいの場の提供 (2) 農産物直売所等による消費者との信頼関係の構築 (3) グリーンツーリズムの推進

施策の方向性

基本方針 1 農業所得の向上

施策 1 持続可能な生産体制の確立

① 地域特性を活かした生産性向上と農業振興

- ①土地利用型農業の推進
- ②新規作物導入による空知型輪作の確立
- ③多様な高収益作物（露地・施設）の生産による所得確保
- ④農業試験圃における品種・栽培技術の検証
- ⑤農・食・健康を連動させた農業振興

② 土づくりの推進

- ①土壌診断による適正施肥
- ②物理性分析による土壌改善
- ③循環型農業の推進

③ 環境と調和した安全・安心な農産物の生産

- ①環境保全型農業の推進
- ②クリーン農業の推進
- ③農業技術情報活用による適期防除・収穫等の実施
- ④農業生産工程管理（GAP）の普及促進

④ 安全・安心な畜産物の供給

- ①畜産経営の体質強化
- ②飼養衛生管理の徹底
- ③計画的な予防接種の推進
- ④酪農ヘルパー事業への支援

⑤ 鳥獣被害防止対策の推進

- ①有害鳥獣捕獲活動の推進
- ②有害鳥獣侵入防止対策の推進



施策 2 農畜産物の付加価値向上と販路の確保

① 地産地消と消費拡大の推進

- ①地産地消の推進
- ②消費拡大の推進

② 農畜産物の付加価値向上の推進

- ①農畜産物の付加価値向上とブランド化の推進
- ②ヴィンヤード及びワイナリーによる農業振興

③ 企業との協働による生産、商品開発及び販路拡大の推進

- ①企業との協働による生産、商品開発
- ②企業との協働による販路拡大

施策 3 スマート農業の加速化

① スマート農業の普及促進

- ①スマート農業の普及促進

② デジタル技術を活用したスマート農業の推進

- ①最先端技術活用による次世代型農業の推進

施策 4 農業生産基盤の整備

① 土地利用型農業に対応した基盤整備の推進

- ①農業生産基盤整備の推進

② 農業水利施設等の整備、維持管理の推進

- ①圃場排水性、用水機能の確保

基本方針2 担い手の育成・確保

施策5 農業経営の安定・発展

① 次世代に向けた多様な担い手の育成・確保

- ①意欲ある担い手の育成
- ②農業経営の法人化の推進
- ③収入保険の加入促進
- ④女性農業者が活躍できる環境づくり

② 労働力の確保と農業経営支援組織の育成・確保

- ①多様な人材による労働力の確保
- ②コントラクターの充実

施策6 新規就農者の育成・確保

① 新規就農（希望）者の就農促進

- ①新規就農者受入活動の実施
- ②新規就農対策の充実

施策7 優良農地の確保・利用集積

① 農地利用集積の促進

- ①意欲ある担い手への農地の利用集積・集約化の促進

② 遊休農地の発生防止と再生利用

- ①遊休農地の発生防止と再生利用

③ 計画的な土地利用の推進

- ①農業振興地域整備計画の適切な運用

基本方針3 農村地域の振興

施策8 多面的機能の発揮促進

① 地域資源の保全管理の推進

- ①地域資源の保全管理・質的向上

② 防災・減災機能の継続性確保

- ①農業水利施設等のストックマネジメント事業の活用
- ②農業水利施設等の適切な維持管理
- ③田んぼダムの推進

③ 農村地域の生活環境の向上

- ①産学官連携の推進
- ②地域の潤いと学びの場を提供

施策9 中山間地域農業の促進

① 中山間地域農業の振興

- ①中山間地域の特性や優位性を活かした農業振興

② 中山間地域の活性化

- ①中山間地域の特性を活かした地域振興

施策10 都市と農村の交流

① 農業・農村とのふれあいの場の提供

- ①農村体験公園による都市と農村の交流

② 農産物直売所等による消費者との信頼関係の構築

- ①農産物直売所等による消費者との信頼関係の構築

③ グリーンツーリズムの推進

- ①グリーンツーリズムの推進

岩見沢市農業振興ビジョンについてのお問い合わせ

岩見沢市 農政部 農務課 農業経営係

〒068-8686

北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

TEL 0126-23-4111 FAX 0126-23-9977

E-mail : noumuka@i-hamanasu.jp

